

口頭発表 第1日目 9月3日(土)

	A会場	B会場	C会場
13:00	A101スズメバチ属の腹部分泌腺の外形態の比較 ○島野 智之 ⁵ ・マッテラ ヒーサー ¹ ・オーティス ガード ² ・ピレン ヨハン ³ ・グエン リアン ⁴ (ウェルズリー大 ¹ ・ゲルフ大 ² ・ルーヴェン大 ³ ・ベトナム科学技術アカデミー ⁴ ・法政大 ⁵)	B101“身近な昆虫”を軸とした地域昆虫相の比較 内松 俊樹(横須賀市博)	C101日本産ツツムネウミハネカクシ属(甲虫目ハネカクシ科)の分類学的研究 ○田作 勇人 ¹ ・小野 広樹 ² ・丸山 宗利 ³ (東海大生物 ¹ ・うみねこ博物館 ² ・九大博 ³)
13:15	A102縄文時代の貝塚から発見されたハチの巣 ○小西 和彦 ¹ ・阿部 芳郎 ² ・佐々木 由香 ³ ・宮浦 舞衣 ⁴ ・小畑 弘己 ⁴ (愛媛大 ¹ ・明治大 ² ・金沢大 ³ ・熊本大 ⁴)	B102昆虫の多様性は20年前と比較して激減したか? ○山岸 健三 ¹ ・戸田 尚希 ¹ ・神谷 京香 ¹ ・太田 康梓郎(名城大 ¹ ・農/昆虫学)	C102日本産クチヒゲハネカクシ属(甲虫目:ハネカクシ科)の分類学的検討 ○橋爪 拓斗 ¹ ・丸山 宗利 ² (九大院・生資環・昆虫 ¹ ・九大博 ²)
13:30	A103鱗翅目昆虫における翅退化をもたらす発生学的な共通原理を探る 新津 修平 ^{1,2,3} (東京立大学 ¹ ・国際基督教大学 ² ・東京大学総合研究博物館 ³)	B103昆虫類におけるリボソームDNA領域を用いた新規DNAバーコーディング領域の提案とMtInsects-16Sを用いた環境DNA研究の試みと課題 ○竹中 将起 ¹ ・長谷部 勇太 ² ・谷野 宏樹 ³ ・東城 幸治 ¹ (信州大/理/生物 ¹ ・神奈川県環境科学センター ² ・基生研/進化発生 ³)	C103ヒラタアリヤドリ属(甲虫目ハネカクシ科)の分類学的研究と近縁属との系統関係 ○野崎 翼 ^{1,2} ・丸山 宗利 ² (九大院・生資環・昆虫 ¹ ・九大博 ²)
13:45	A104ナガサキアゲハにおけるメスに限られたベイツ型擬態の分子メカニズムと腹部の擬態形質について ○古俣 慎也 ¹ ・林 仲平 ² ・藤原 晴彦 ¹ (東京大院/新領域 ¹ ・台師大/生命 ²)	B104キロシヨウジョウバエの温度周期下での羽化リズムー平均温度の影響ー ○渡 康彦 ¹ ・後藤 慎介 ² ・宮崎 洋祐 ¹ ・黒木 出 ¹ ・田中 一裕 ³ (芦屋大 ¹ ・大阪公立大 ² ・宮城学院女子大 ³)	C104日本のアリヅカムシ最後の謎属 <i>Forinus</i> (コウチュウ目、ハネカクシ科)の西九州における発見 野村 周平(国立科学博物館/動物研究部)
14:00	A105エンドウヒゲナガアブラムシの近親交配が生活史形質と細胞内共生系に与える影響 ○松田 直樹・重信 秀治(基礎生物学研究所)	B105ナカモンナミキノコバエ <i>Mycetophila ruficollis</i> (双翅目キノコバエ科)の生態 末吉 昌宏(森林総合研究所)	C105日本産コケアリヅカムシ属 <i>Tyrus</i> およびその近縁属の分類学的再検討(コウチュウ目:ハネカクシ科:アリヅカムシ亜科) ○井上 翔太 ^{1,2} ・野村 周平 ³ (九大院・生資環・昆虫 ¹ ・九大博 ² ・国立科学博物館/動物研究部 ³)
14:15	A106リアルタイムPCRによるアブラムシからのジャガイモYウイルスの検出 ○佐野 正和・小野塚 信哉・鈴木 智・大木 健広(農研機構)	B106Gall midges associated with flowers of <i>Dioscorea tokoro</i> ○Elsayed Ayman ^{1,2} ・Mochizuki Ko ² ・Kawakita Atsushi ² (Saga University ¹ ・The University of Tokyo ²)	C106マルマグソコガネ属とその近縁属の系統および分類学的再検討 ○柿添 翔太郎 ¹ ・Lim Changseob ² (科博・標本資料セ ¹ ・Korea Univ. ²)
14:30	A107X線CTを使った、岩手県久慈市の琥珀中の昆虫類の同定、オドリバエ科 ○城田安幸 ¹ ・西川幸宏 ² (医果同源りんご機能研究所 ¹ ・京都工芸繊維大学 ²)	B107オナガミズアオ幼虫における発音メカニズム ○齋藤 政希・杉浦 真治(神戸大・農)	C107ハナムグリ亜科幼虫の前胸硬皮板の形態:高次分類群間の比較 瀬島 勇飛(東京農大院・昆虫)
14:45	A108昆虫の体表脂質の構造、分布、物性:構造化学、組成分析、表面分析によるアプローチ ○金子 文俊 ¹ ・片桐 千仍 ² ・長嶋 剣 ³ ・佐崎 元 ³ (大阪大 ¹ ・数理設計研 ² ・北海道大 ³)	B108ツマグロキチョウ成虫の非発生地における越冬 井上 大成(森林総研・多摩)	C108日本産キクイゾウムシ亜科 <i>Cossoninae</i> (甲虫目:ゾウムシ科)の分類学的研究 井上 修吾(九州大)

口頭発表 第2日目 9月4日(土)

	A会場	B会場	C会場
10:00	A201ツヤヒラタゴミシ属の系統進化・形質進化・集団動態 ○清水 隆史・久保田 耕平(東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室)	B201ズキンヨコバイに寄生するクシヒゲネジレバネの生活史 中瀬 悠太(信州大)	G201 <i>Macrodasyceras</i> 属(ハチ目:モンオナガコバチ科)の分類学的再検討 ○松尾 和典 ¹ ・西門 未帆 ² ・久野 未希 ³ ・Yeh Wen-Chi ⁴ ・Hung Ting-Yi ⁴ ・平山 貴美子 ² (九大院比文 ¹ ・京府大院生命環境 ² ・九大院地社 ³ ・TFRI ⁴)
10:15	A202ホソヒメツヤドロムシ <i>Zaitzeviaria gotoi</i> (Nomura, 1959) の分子系統解析 - 未記載種の検出 - ○吉田 匠 ¹ ・林 成多 ² ・岡本 聖矢 ³ ・竹中 將起 ³ ・東城 幸治 ³ (信州大院・総合理工 ¹ ・ホシザキグリーン財団 ² ・信州大・理 ³)	B202小笠原諸島におけるカメムシ類の種多様性の現状と課題 嶋本 晋介(東京農大昆虫研)	G202日本産 <i>Nothoserphus</i> 属(ハチ目:シリボソクロバチ科)の概要と寄主の傾向 阿部 純大(九大院・生資環・昆虫)
10:30	A203関東地方周辺における <i>Asiopodabrus</i> 属(甲虫目ジョウカイボン科)の多様化プロセス ○中村 涼・久保田 耕平(東京大/森林動物学研究室)	B203カメムシの青色素—ピリン発色団と結合タンパク質の解析— ○森山 実・深津 武馬(産総研・生物プロセス)	G203日本のアリバチ科(ハチ目: 起源と分類 岡安 樹瑛也(北大昆虫体系)
10:45	A204ヒゲナガゾウムシ科(鞘翅目:ゾウムシ上科)の分子情報を見てわかったこと今田 舜介 ^{1,2} (九大博 ¹ ・九大院・生資環・昆虫 ²)	B204キンカメムシ科の卵形変異 ○正本 大岳・工藤 慎一(鳴門教育大)	G204カグヤヒメグモを利用する <i>Zatypota</i> 属3種の形態・寄主利用・生活史(ヒメバチ科;ヒラタヒメバチ亜科;クモヒメバチ属群) 松本 吏樹郎(大阪市立自然史博物館)
11:00	A2052種の飛翔可能なクワガタムシにおける形質置換を伴う強い排他的分布 ○チョウ ショウナン・久保田 耕平(The University of Tokyo)	B205ツノカメムシ科の卵形状:メス親による防衛行動と卵形状の進化的相関 ○工藤 慎一 ¹ ・原野 智広 ² ・杏掛 展之 ³ ・吉澤 和徳 ⁴ (鳴門教育大 ¹ ・愛知学院大 ² ・総研大・先導研 ³ ・北大・農・昆虫体系 ⁴)	G205日本産ハラボソコマユバチ亜科(ハチ目コマユバチ科)の属の再検討 ○藤江 隼平 ¹ ・前藤 薫 ² (大阪市立自然史博物館 ¹ ・神戸大学 ²)
11:15	A206山岳高標高域に生息するサハリントビケラとナガレエグリトビケラの分子系統地理学的研究 ○鈴木 啓久 ¹ ・竹中 將起 ² ・東城 幸治 ² (信州大院・総合医理工 ¹ ・信州大・理 ²)	B206ナミテントウ母親の未発生卵による両賭け型・状況依存的な子に対する追加資源投資 大澤 直哉(京大農森林生態)	G206日本産 <i>Helconini</i> 族(ハチ目コマユバチ科フチガシラコマユバチ亜科)の分類学的研究—分類の現状と <i>Helconidea</i> 属について— ○廣瀬 勇輝 ¹ ・藤江 隼平 ² (東京農大・昆虫 ¹ ・大阪自然史博 ²)
11:30	A207深層学習による画像認識技術を用いたチョウの地理的変異に関する定量的考察 ○矢後 勝也 ¹ ・平川 翼 ² ・小椋山 賢二 ³ ・名和 哲夫 ⁴ ・川村 真也 ² ・大場 裕一 ² ・杉田 暁 ² ・福井 弘道 ² (東京大 ¹ ・中部大 ² ・慶應大 ³ ・名和昆虫博物館 ⁴)	B207鳥根県におけるムナビロツヤドロムシ <i>Elmormorphus brevicornis</i> (コウチュウ目:ドロムシ科)の生活史 ○森本 涼介・宮永 龍一(鳥根大学大学院)	G207日本産ゴール形成タマバエ類(ハエ目:タマバエ科)に寄生するヒメコバチ相(ハチ目:ヒメコバチ科)解明への第1歩 ○久野 未希・松尾 和典(九州大学院)
11:45	A208石垣島の水田におけるカメムシ類の種構成 ○大野 豪 ¹ ・細川 理恵 ² ・中谷 至伸 ³ (沖縄県農業研究センター石垣支所 ¹ ・沖縄県病害虫防除技術センター八重山駐在 ² ・農研機構・植物防疫研究部門 ³)	B208ヒメボタル (<i>Luciola parvula</i>) 成虫の発光活動の定量観察 小西 哲郎(中部大)	G208体構造の一部が柱状になって巣穴を塞ぐフラグモシスをもつアリ類:カンボジアから発見されたカレバアラリ属の一種について(ハチ目:アリ科) 細石 真吾(九大/熱研センター)

口頭発表 第3日目 9月5日(月)

	A会場	B会場	C会場
10:00	A301日本産シイタケオオヒロズコガ属(チョウ目ヒロズコガ科)の各種の識別法、およびシイタケオオヒロズコガの幼生期の形態 長田 庸平(大阪市立自然史博物館)	B301北日本と西南日本におけるヒメバチ科の季節消長調査 ○大松 勇司・小西 和彦(愛媛大学/農/昆虫)	C301サツマツチゴキブリ(ゴキブリ目:チャバネゴキブリ科)の分類学的研究 林 幸希(東京農大/昆虫)
10:15	A302キャメロンコガネコバチ(ハチ目:コガネコバチ科)の成虫期の餌が産卵数に及ぼす影響 ○進藤 慎人 ¹ ・浅見 昂志 ² ・ウー アキョウ ² ・阿部 芳久 ³ ・松尾 和典 ³ (九州大 ¹ ・九大院地社 ² ・九大院比文 ³)	B302皇居吹上御苑において新たに確認されたタマバチ科(ハチ目) 井手 竜也(国立科博)	C302ゴール形成アブラムシ、ニレソシジウムシ(オカボノクロアブラムシ)の混乱した学名の整理とさらなる分類上の問題 ○秋元 信一 ¹ ・渡部 友子 ² ・佐野 正和 ³ ・村上 啓介 ² ・Lee Wonhoon ⁴ (北海道大学総合博物館 ¹ ・北海道大学農学院 ² ・農研機構北海道農業研究センター ³ ・Gyeongsang National University ⁴)
10:30	A303ビワコカタイガラモドキの天敵である寄生蜂群集と鳥類捕食者 ○鈴木 紀之 ¹ ・松本 いづみ ¹ ・吉川 徹朗 ² (高知大学 ¹ ・大阪公立大学 ²)	B303ヤマトイシノミモドキ属の一種の配偶行動(イシノミ目・イシノミ科・ヤマトイシノミモドキ亜科) ○武藤 将道 ^{2,1} ・塘 忠顕 ² ・町田 龍一郎 ³ (学振PD ¹ ・福島大学 ² ・筑波大学/菅平高原実験所 ³)	C303沖縄県で新たに確認されたミバエ類について 楠本 みさき(沖縄県病害虫防除技術センター)
10:45	A304大量増殖環境下におけるアリモドキゾウムシの形質進化 ○日室 千尋 ¹ ・本間 淳 ¹ ・池川 雄亮 ¹ ・熊野了州 ² (沖縄県病害虫防除セ、琉球産経(株)、琉球大学 ¹ ・帯広畜産大学 ²)	B304チャノミドリヒメコバの産卵特性一耕種的防除への応用 ○萬屋 宏・佐藤 安志・須藤 正彬(農研機構植防研)	C304日本産 <i>Gynnidomorpha</i> 属(チョウ目:ハマキガ科)の分類学的再検討 ○鈴木 信也 ¹ ・神保 宇嗣 ² ・屋宜 禎央 ³ ・広渡 俊哉 ³ (九大院・生資源・昆虫 ¹ ・国立科博・標本セ ² ・九大院・農・昆虫 ³)
11:00	A305イモゾウムシ・アリモドキゾウムシの地上出現前交尾が不妊虫放飼による防除に与える影響 ○本間 淳 ^{1,2,3} ・池川 雄亮 ^{1,2,3} ・日室 千尋 ^{1,2,3} (琉球産経株式会社 ¹ ・沖縄県病害虫防除技術センター ² ・琉球大 ³)	B305ツメクサアブラムシで見つかった不完全生活環クローンについて ○園田 昌司・塚原 孝典・Xue Jiqing・香川 清彦(宇都宮大・農学部)	C305日本産 <i>Ectoedemia</i> 属 <i>ornatella</i> 種群(チョウ目:モグリチビガ科)の分類学的研究 ○屋宜 禎央 ¹ ・平野 長男 ² ・広渡 俊哉 ¹ (九大院・農・昆虫 ¹ ・長野県 ²)
11:15	A306自動車の排気ガスを利用したアブ捕獲トラップの開発 ○中村 剛之・關 亮彦(弘前大白神センター)	B306ニッケイトガリキジラムの虫こぶに住むコウノアケハダニの生活様式 伊藤 桂(高知大学/農林海洋科学部/昆虫生態学研究室)	C306アセビ(ツツジ科)を食する <i>Agonopterix</i> 属の未記載種(鱗翅目, ヒラタマルハキバガ科) ○荒島 弾 ¹ ・屋宜 禎央 ² ・阪上 洗多 ³ ・広渡 俊哉 ² (九大院・生資源・昆虫 ¹ ・九大院・農・昆虫 ² ・兵庫県加西農業改良普及センター ³)
11:30	A307鹿児島県南薩地域におけるサシバエ(ハエ目:イエバエ科)の発生消長 ○浅見 昂志 ¹ ・進藤 慎人 ² ・荒木 啓充 ³ ・吉村和敏 ⁴ ・垣内 一明 ⁴ ・水口 一幸 ⁵ ・米田 秀一 ⁵ ・阿部 芳久 ⁶ ・松尾 和典 ⁶ (九大院・地社 ¹ ・九大・共創 ² ・九大院・経済 ³ ・鹿児島県 ⁴ ・鹿児島県酪 ⁵ ・九大院・比文 ⁶)	B307シバスの雌性先熟と成虫の体サイズの性的二型 田中 一裕(宮城学院女子大学 一般教育部)	C307九州・沖縄で発見されたマルハキバガ科(鱗翅目:キバガ上科)の2未記録属 ○外村 俊輔 ¹ ・広渡 俊哉 ² (九大院・生資源・昆虫 ¹ ・九大院・農・昆虫 ²)
11:45	A308畜産害虫サシバエ(ハエ目:イエバエ科)の色による粘着板捕獲効率の違い ○河野 結愛 ¹ ・進藤 慎人 ¹ ・浅見 昂志 ² ・荒木 啓充 ³ ・中島 直美 ⁴ ・吉村 和敏 ⁵ ・垣内 一明 ⁵ ・水口 一幸 ⁶ ・米田 秀一 ⁶ ・阿部 芳久 ⁷ ・松尾 和典 ⁷ (九大共創 ¹ ・九大院地社 ² ・九大院経済 ³ ・福岡県 ⁴ ・鹿児島県 ⁵ ・鹿児島県酪 ⁶ ・九大院比文 ⁷)	B308クロモンチビゴキブリ <i>Anaplecta japonica</i> Asahina, 1977の生活史について(ゴキブリ目・チビゴキブリ科) ○藤田 麻里 ¹ ・町田 龍一郎 ² (慶應義塾大 ¹ ・筑波大・山岳科学センター-菅平高原実験所 ²)	C308伊豆半島南部で発見されたヒイロギンズジコガ <i>Digitivalva</i> sp. について(鱗翅目:ホソハマキモドキガ科:アトヒゲコガ亜科) ○張 欣好 ¹ ・屋宜 禎央 ² ・広渡 俊哉 ² (九大院・生資源・昆虫 ¹ ・九大院・農・昆虫 ²)